



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月13日

上場会社名 株式会社エー・ピーカンパニー 上場取引所 東  
 コード番号 3175 URL <http://www.apcompany.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米山 久  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 落合 陽介 (TEL) 03-6435-8440  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,257	△79.5	△839	—	△708	—	△1,496	—
2020年3月期第1四半期	6,135	2.4	29	—	25	—	24	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △1,494百万円(—%) 2020年3月期第1四半期 28百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△207.81	—
2020年3月期第1四半期	3.44	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	9,462	49	△0.3
2020年3月期	10,063	1,542	14.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 △31百万円 2020年3月期 1,461百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大による影響を現時点において適正かつ合理的に算定することが困難と判断し、未定としています。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	7,427,850株	2020年3月期	7,427,850株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	225,206株	2020年3月期	225,206株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	7,202,644株	2020年3月期1Q	7,202,644株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実勢の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(追加情報) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により極めて厳しい状況にあります。感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくことで徐々に景気が持ち直しに向かうことが期待されますが、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。

外食業界におきましても、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う4月の緊急事態宣言を踏まえた休業の影響等により、大幅に売上が減少しました。5月の緊急事態宣言の解除により営業再開がなされ、一部に持ち直しも見られるものの事業環境に大きな影響を受けております。

このような環境の中、当社グループにおきましては消費環境の変化に対応し、付加価値の高い商品の開発や販売におけるサービスの更なる強化に取り組んでおります。「食のあるべき姿を追求する」というグループ共通のミッションのもと、既存ブランドの再構築及び居酒屋よりも食事に重点を置いた「つかだ食堂」といった新ブランド開発に加え、電子商取引やテイクアウト・デリバリーといった、生産者との継続的な深い関わりに基づく商品力を基軸とした新たなビジネスに取り組むなど、事業モデルの転換に努めておりますものの、既存店舗の落ち込みを挽回するには未だ至っておりません。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止に寄与すべく、当社グループの店舗の大半を約2ヶ月間営業自粛したことにより、臨時休業による特別損失が768百万円発生しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,257百万円（前年同期比79.5%減）、営業損失は839百万円（前年同四半期は営業利益29百万円）、経常損失は708百万円（前年同四半期は経常利益25百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,496百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益24百万円）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### ① 生産流通事業

生産流通事業では、「生販直結モデル」の一部として、地鶏、鮮魚、青果物などの生産及び流通事業を行っております。食産業全般において、仕入価格の不安定化が事業課題になっておりますが、当社グループにおいては主要食材を当社グループ会社や安定した契約農家などから調達できることが事業の安定化につながり強みとなっております。

直近では、新型コロナウイルス感染症拡大防止に寄与すべく、当社グループの店舗の大半を約2ヶ月間営業自粛したことにより、地鶏の生産量や野菜の流通量は大幅に減少しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は243百万円（前年同期比69.2%減）、セグメント損失は34百万円（前年同四半期はセグメント利益57百万円）となりました。

#### ② 販売事業

販売事業では、「生販直結モデル」の一部として、主に外食店舗を運営しております。

当第1四半期連結累計期間の全店舗の売上高が、前年同期比△80.3%となりました。これは新型コロナウイルス感染症拡大防止に寄与すべく、当社グループの店舗の大半を約2ヶ月間営業自粛したことによるものであります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,153百万円（前年同期比80.3%減）、セグメント損失は804百万円（前年同四半期はセグメント損失29百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は9,462百万円（前連結会計年度比600百万円の減少）となりました。これは主に売掛金の回収に伴う減少166百万円や未収入金の回収に伴う減少256百万円によるものです。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止に寄与すべく、当社グループの店舗の大半を約2ヶ月間営業自粛したことにより、臨時休業による特別損失が768百万円発生しておりますが、これに備え資金調達を行ったことにより、現金及び預金はほぼ横ばいとなっております。

### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は49百万円（前連結会計年度比1,492百万円の減少）となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失1,496百万円によるものです。

### (自己資本比率)

当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は0.3%（前連結会計年度比14.4ポイント減）となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失1,496百万円により自己資本が減少したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期につきましては、世界規模で拡大する新型コロナウイルス感染症の影響により、わが国経済への打撃が深刻なものとなり、厳しい経済状況が続くことが予想されます。当社グループは、お客さまや従業員の安心・安全を第一に考えて、臨時休業や感染拡大防止策等を実施しているため、売上高が大幅に減少する等の影響を受けておりますと同時に先行きが見通せない状況にあります。

新型コロナウイルス感染症の収束時期は未だ予測することができず、またその後の景気動向なかならず居酒屋業界への影響など不確定要素が多いことから、予想が困難な状況にあります。そのため、2021年3月期の連結業績予想につきましては未定とさせていただきます。

今後も新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によって市場環境が頻繁に変化する状況であることに鑑み、引き続き業績動向を注視し、業績への重要な影響が生じた場合は、内容を精査の上、適時開示が必要な場合は速やかに公表して参ります。

また、新型コロナウイルス感染症の収束後の新たな市場環境を見据え、販売事業の収益力の底上げとグループ全体のコスト効率化を進めると共に、居酒屋中心の店舗運営からの転換や電子商取引やデリバリー・テイクアウト等の事業展開を推進して参ります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,853,198	1,747,876
売掛金	597,104	430,663
たな卸資産	615,676	697,919
その他	654,166	465,676
貸倒引当金	△4,112	△4,112
流動資産合計	3,716,033	3,338,024
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,824,874	6,769,812
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,707,237	△3,667,708
建物及び構築物（純額）	3,117,637	3,102,103
工具、器具及び備品	2,384,299	2,385,867
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,031,249	△2,044,193
工具、器具及び備品（純額）	353,049	341,674
建設仮勘定	86,570	55,770
その他	594,649	573,696
減価償却累計額及び減損損失累計額	△369,418	△359,212
その他（純額）	225,230	214,484
有形固定資産合計	3,782,488	3,714,032
無形固定資産		
のれん	233,755	217,558
ソフトウェア	21,042	19,757
その他	2,671	2,208
無形固定資産合計	257,469	239,524
投資その他の資産		
投資有価証券	160,152	157,325
敷金及び保証金	1,829,799	1,731,346
長期前払費用	216,620	200,775
繰延税金資産	71,146	56,549
その他	35,273	30,620
貸倒引当金	△5,304	△5,304
投資その他の資産合計	2,307,687	2,171,312
固定資産合計	6,347,645	6,124,869
資産合計	10,063,678	9,462,893

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	444,781	329,557
短期借入金	1,300,000	2,236,059
1年内返済予定の長期借入金	806,442	945,416
未払金	168,519	146,843
未払費用	668,524	552,678
未払法人税等	86,274	35,331
未払消費税等	165,279	56,416
その他	119,173	94,306
流動負債合計	3,758,995	4,396,610
固定負債		
長期借入金	4,402,491	4,700,488
繰延税金負債	14,743	14,865
関係会社整理損失引当金	18,500	18,500
その他	326,674	282,952
固定負債合計	4,762,409	5,016,806
負債合計	8,521,405	9,413,417
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	495,517	495,517
資本剰余金	475,517	475,517
利益剰余金	926,483	△570,312
自己株式	△374,853	△374,853
株主資本合計	1,522,666	25,869
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△61,117	△57,734
その他の包括利益累計額合計	△61,117	△57,734
新株予約権	7,724	7,724
非支配株主持分	72,999	73,615
純資産合計	1,542,273	49,475
負債純資産合計	10,063,678	9,462,893

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	6,135,643	1,257,566
売上原価	1,980,879	566,404
売上総利益	4,154,764	691,161
販売費及び一般管理費	4,125,651	1,530,325
営業利益又は営業損失(△)	29,113	△839,163
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,103	205
持分法による投資利益	2,277	—
為替差益	—	20,651
補助金収入	—	61,970
協賛金収入	12,185	9,891
その他	18,102	62,113
営業外収益合計	33,669	154,832
営業外費用		
支払手数料	—	1,598
支払利息	10,867	7,494
持分法による投資損失	—	2,826
為替差損	17,598	—
その他	8,791	12,337
営業外費用合計	37,257	24,257
経常利益又は経常損失(△)	25,525	△708,588
特別利益		
固定資産売却益	13,614	48
特別利益合計	13,614	48
特別損失		
固定資産除却損	4,569	—
臨時休業による損失	—	768,870
その他	51	—
特別損失合計	4,621	768,870
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	34,517	△1,477,410
法人税等	8,585	20,402
四半期純利益又は四半期純損失(△)	25,932	△1,497,812
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1,134	△1,016
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	24,798	△1,496,796



四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	25,932	△1,497,812
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	2,945	3,382
その他の包括利益合計	2,945	3,382
四半期包括利益	28,878	△1,494,429
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,743	△1,493,413
非支配株主に係る四半期包括利益	1,134	△1,016

### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積り

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う店舗の臨時休業等により、足元の業績に売上高減少等の影響が生じております。固定資産の減損及び税効果会計等におきましては、当該業績への影響が2020年9月まで続くものと仮定し、将来キャッシュ・フロー及び繰延税金資産の回収可能性等の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

#### 【セグメント情報】

#### I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

##### 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益計 算書計上額 (注)2
	生産流通事業	販売事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	275,612	5,860,031	6,135,643	—	6,135,643
セグメント間の内部 売上高又は振替高	515,897	6,060	521,957	△521,957	—
計	791,509	5,866,091	6,657,601	△521,957	6,135,643
セグメント利益又は損失(△)	57,555	△29,371	28,184	929	29,113

(注)1 セグメント利益の調整額は、たな卸資産の調整額等929千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

##### 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

#### II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

##### 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益計 算書計上額 (注)2
	生産流通事業	販売事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	104,177	1,153,388	1,257,566	—	1,257,566
セグメント間の内部 売上高又は振替高	139,707	37	139,744	△139,744	—
計	243,884	1,153,425	1,397,310	△139,744	1,257,566
セグメント利益又は損失(△)	△34,481	△804,742	△839,223	59	△839,163

(注)1 セグメント利益の調整額は、たな卸資産の調整額等59千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

##### 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。